

# やまなし 県議会 だより

## 十一月臨時会の概要

県議会は、十一月七日、臨時会を開き、国の補正予算の成立を受けて提案された経済対策としての公共事業費等である総額百八億四千七百四十九万四千円の一一般会計補正予算案など三案件を審議し、可決しました。

## 十二月定例会の概要

県議会は、平成二十八年十二月定例会を十二月五日から十九日までの十五日間の日程で開きました。開会日の提案理由説明で後藤斎知事は、昨年十月の常住人口調査において、本県人口の社会減の幅が七年ぶりに二千人を



下回り縮減したことに触れ、今後も状況が一層改善していくよう、県を挙げた人口減少対策の取り組みを進めていく決意を示されました。

また、総合球技場の整備については、都市計画や経営の専門家等で構成する検討委員会において検討が行われており、今後は、検討委員会での議論や県議会からの意見などを踏まえながら、リニア環境未来都市整備方針とも整合性を図る中で建設場所を決定していくと述べられました。

さらに、昨年四月に発生した熊本地震を受け設置された県防災会議地震部会の報告書を踏まえ、災害対応力の一層の強化を図る観点から、県地域防災計画を年度内に改正する方針が明らかにされました。知事の説明を受けて、十二月八日、九日、十二日、十三日の四日間、代表・一般質問を行いました。代表質問には自民党誠心会の中村正則氏、白壁賢一氏、チームやまなしの望月利樹氏、リベラルやまなしの土橋亨氏が登壇。一般質問には、河西敏郎、大柴邦彦、遠藤浩、渡辺淳也（いずれも自民党誠心会）、佐藤茂樹（チームやまなし）の各氏が登壇しました。（詳細は二～四面）

十二月十四日には、総務、教育厚生、農政産業観光、土木森林環境の四常任委員会を開き、付託議案や所管事項の審査を行いました。（詳細は四面）

定例会最終日の十二月十九日は、中部横断自動車道の早期整備を求める意見書や総額四十三億五千五百三十九万七千円の一一般会計補正予算案など十九案件を可決しました。

### 県議会 トピックス

#### 臼井成夫議員を永年勤続表彰 地方自治の発展に功績

全国都道府県議会議長会から、県議会議員として30年以上在職し、地方自治の発展に功績があったとして、臼井成夫議員（自民党誠心会、甲府市）が永年勤続表彰されました。

12月定例会の開会日に、議場で表彰状の伝達が行われ、あわせて、永年議員の職にあつて県政推進に功績があったとして、鈴木幹夫議長から山梨県議会議長表彰が行われました。



表彰を受ける臼井議員

#### 「山梨県議会基本条例(仮称)」(素案)に対する 県民の皆様のご意見を募集中

議会の果たすべき役割を明確にするとともに、県民に開かれた議会活動を推進するため、「山梨県議会基本条例(仮称)」の制定を進めており、現在、その素案に対する県民の皆様からのご意見を募集しております。

条例(素案)の内容やご意見の提出方法など詳細につきましては、県議会ホームページをご覧ください。

募集期間 1月19日(木)～ 2月17日(金)

【問い合わせ先】 県議会事務局 議事調査課  
TEL 055-223-1813  
FAX 055-223-1817





# 12月定例会本会議 の質問と答弁から

## 県政指針

### 地方創生の推進

**問** 地方創生活点整備交付金を活用した取り組みは。

**答** 今後、成長が見込まれる分野の研究開発を支援するため、富士工業技術センターに新施設を整備するほか、全国的な馬術競技大会を誘致して本県への誘客の促進を図るため、馬術競技場の施設整備へ助成するなど、

補正予算に所要の経費を計上した。

こうした取り組みを中心として、研究開発の活性化による新事業・分野への参入を促進し、本県産業の発展や新たな雇用の創出を図るとともに、地域資源を生かした観光振興による本県への新たな人の流れを促し、将来にわたり活力あふれる地域の創生を図っていく。

## 暮らし

### 山梨県ボランティア・NPOセンター

**問** ボランティア活動の一層の推進のための取り組みは。

**答** センターが行っているボランティア情報発信強化のための情報ネットの充実を初め、ボランティアに参加したい人とのマッチングや、ネット



平成28年5月に防災新館1階に移転・開所した県ボランティア・NPOセンター

とワークを広げる交流会の開催などの取り組みを支援し、環境整備に努めている。

また、会議室などが必要とする方々には、隣接の生涯学習推進センターの交流室や、市町村のボランティアセンターなど既存の施設を紹介している。

今後は、事業主体である県社会福祉協議会などとともに、利用者の声に耳を傾けながら、より多くの県民の参加のもとにボランティア活動が推進されるよう支援していく。

## 北富士

**問** 新富士保全法制定への取り組み

**答** 北富士演習場対策は、県政の重要課題であり、これまでの基本姿

勢を堅持する中で、ダイナミックやまなし総合計画に位置づけ、地域振興と民生安定を図る取り組みを進めている。

こうした中、この地域の特色を生かした地域づくりを検討する富士北麓地域づくり協議会に参画し、これまでに、富士山を基軸に据えた地域づくり構想

と基本計画が策定されたとともに、今後は、具体的事業や工程を示すアクションプランを策定することとしている。

こうした取り組みを通じて、将来的には、新富士保全法の制定に向けた取り組みにも生かしていきたいよう、地元市町村等と歩調を合わせ適切に対応していく。

## 青少年

### 健全な青少年の育成

**問** 非行少年の立ち直り支援への取り組みは。

**答** 将来にわたる犯罪抑止の基盤を確立するため、非行少年を生まない社会づくりの一環として、少年に手を差し伸べる立ち直り支援活動を行っている。

活動の内容は、農業者や社会奉仕活動など多岐にわたるが、各種ボランティアや地域の方々等の協力を得て、孤立感や疎外感を抱く少年の心の居場所づくり、自己肯定感の醸成に主眼をおいて支援活動を行っている。

## 福祉保健

**問** 自殺対策推進計画

**答** これまでの取り組みを、一層、加速化させるため、本県の自殺の現状や課題を踏まえた施策を幅広く展開していく。

具体的には、悩んでいる人に寄り添い、必要な支援につなげるゲートキーパーを大幅に増員し、身近で気軽に相談できる体制を整備するとともに、自殺対策セミナーの開催等を通じ、市町村の自殺対策計画の策定を支援するなど、全県的な取り組みを強化していく。

あわせて、学識経験者や

## 教育

### 峡南地域の新設高校の開校に向けた今後の取り組み

**問** どのように取り組んでいくのか。

**答** 先般、増穂商業高校、市川高校及び峡南高校の学校長などで組織する検討委員会を設置し、カリキュラムや部活動、学校行事などについて、具体的な検討に着手した。

また、通学に不便が生じる地域の生徒については、バス通学による利便性が向上するよう、今後、交通事業者や関係市町に働きかけていく。

## 障害者の就労促進

**問** どのような取り組みを進めていくのか。

**答** これまで、本県独自の県版障害者ジョブコーチ制度により、障害者と企業とのかけ橋となつて、就業にに取り組んできた。

今後は、ジョブコーチ制度のさらなる充実を図るため、特別支援学校の元教員や障害者施設のOBなど、即戦力となる人材を対象

として養成を行い、現在の十五人から五十人程度に増員するとともに、活動中のジョブコーチを対象とするフォローアップ講座を開催し、個々の障害の特性や程度に即した支援技術の向上を図ることとした。



農福連携障害者就労促進事業による作業現場の様子

また、農業分野における障害者の就労を進める農福連携障害者就労促進事業などにより、新たな産業分野への就労機会の拡大を図っていく。

また、健康被害の全容を解明するために、県で被接種者全員を対象とした調査を実施するには、医学的な知見に基づく判断基準等が必要である。



### 新エネルギー



水素エネルギー社会の実現に向けた新たな取り組み

**問** 水素技術センターの誘致効果は。

**答** 米倉山県有地に整備することが決定した

水素技術センターは、水素関連企業等が開発した水素ステーションの構成機器・部品の実証や低コスト化に向けた検証、水素ステーションに必要な人材育成等を行う国内唯一の施設である。

このセンターを運営する一般社団法人 水素供給利用技術協会（HYSUT）

は、我が国を代表するエネルギー関連企業や大手自動車メーカー等により構成されており、これらの企業とのビジネスマッチングや研究者との交流などを通じて、県内企業の新たな参入機会の拡大や、研究開発力・技術力の格段の向上が期待できる。

事業を実施し、北杜市の天女山山頂や南アルプス市の櫛形山見晴らし平など、眺望確保のための樹木伐採や林内整備を行ってきた。

こうして修景された箇所は、おすすめ絶景ポイントとして広くPRするとともに、絶景を堪能できるマラソンやサイクリングなどのモデルコースとして、本年度構築した総合スポーツサイトで紹介するなど、自然を生かした誘客に努めている。

さらに、年内には県有林における眺望ポイント等、魅力ある森林スポットを百カ所選定し、冊子で紹介するなど周遊観光を促進していく。

### 観光



自然景観を活用した周遊観光の促進

**問** どのように取り組んでいくのか。

**答** 県では、森林景観の形成・修景を行う、おもてなし森林景観創出

きるよう取り組んでいく。

中部横断自動車道及び接続する主要幹線道路

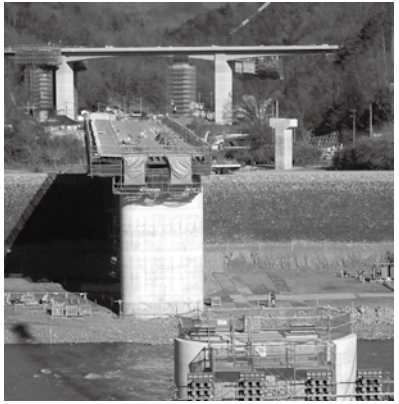
### 道路



**問** 地域活性化インターチェンジ等の整備状況は。

**答** 中部横断自動車道の中富インターチェンジは計画どおり工事が進み、明年度には完成見込みである。

また、身延山インターチェンジは盛土工事など順調に進んでおり、本線開通に合わせて供用で



工事が進む中富インターチェンジ

国道三百号中之倉バイパスについては、大型車の通行に最も支障となる区間の工事を優先的に進めている。このうち灯第一トンネルは脆弱な地盤での掘削や大量の湧水処理などを必要とする難工事である。

事業を実施し、北杜市の天女山山頂や南アルプス市の櫛形山見晴らし平など、眺望確保のための樹木伐採や林内整備を行ってきた。

こうして修景された箇所は、おすすめ絶景ポイントとして広くPRするとともに、絶景を堪能できるマラソンやサイクリングなどのモデルコースとして、本年度構築した総合スポーツサイトで紹介するなど、自然を生かした誘客に努めている。

さらに、年内には県有林における眺望ポイント等、魅力ある森林スポットを百カ所選定し、冊子で紹介するなど周遊観光を促進していく。

また、本年度は十社程度の企業がトマトや葉物野菜、醸造用ブドウなどの栽培に参入することが見込まれており、さらに明年度以降の参入について、三十社程度の企業から相談がきている。

今後、県外での企業の参入相談会や企業訪問などを積極的に実施し、企業の農業参入を促進していく。

また、本年度は十社程度の企業がトマトや葉物野菜、醸造用ブドウなどの栽培に参入することが見込まれており、さらに明年度以降の参入について、三十社程度の企業から相談がきている。

今後、県外での企業の参入相談会や企業訪問などを積極的に実施し、企業の農業参入を促進していく。

また、本年度は十社程度の企業がトマトや葉物野菜、醸造用ブドウなどの栽培に参入することが見込まれており、さらに明年度以降の参入について、三十社程度の企業から相談がきている。

### 農業



企業の農業参入

**問** 現状と今後の参入見込みは。

**答** 近年では、本県に毎年十社程度が参入して

おり、調査を開始した平成十一年度から二十七年

度までの参入実績は百五社に上っている。

この結果、累計で約百二十ヘクタールの耕作放棄地を含む、二百ヘクタール以上の農地が有効活用されるとともに、昨年一月の調査時点では五百人を超える方々が雇用されている。

また、本年度は十社程度の企業がトマトや葉物野菜、醸造用ブドウなどの栽培に参入することが見込まれており、さらに明年度以降の参入について、三十社程度の企業から相談がきている。

今後、県外での企業の参入相談会や企業訪問などを積極的に実施し、企業の農業参入を促進していく。

また、本年度は十社程度の企業がトマトや葉物野菜、醸造用ブドウなどの栽培に参入することが見込まれており、さらに明年度以降の参入について、三十社程度の企業から相談がきている。

今後、県外での企業の参入相談会や企業訪問などを積極的に実施し、企業の農業参入を促進していく。

リニア 駅へのアクセス強化



**問** 道路整備をどのように進めていくのか。

**答** リニア中央新幹線の効果を県全体に波及

させるため、リニア駅から三十分で到達できる圏域のさらなる拡大を目指し、第



農業参入した企業によるトマト栽培

ら相談がきている。今後、県外での企業の参入相談会や企業訪問などを積極的に実施し、企業の農業参入を促進していく。

### 林業



木材産業の振興

**問** どのように取り組んでいるのか。

**答** 東京オリンピック・パラリンピックを契機とする木材需要に

県産の整備や高性能林業機械の導入等への支援を行うなど、素材生産の効率化に向けた取り組みを進め

るとともに、CLT工法等の新たな技術の導入や公共施設等の木造・木質化の推進など、県産材の一層の普及を図っている。また、木質ボイラー設置施設の見学会や、民間施設等のボイラー導入への支援を行うなど、未利用間伐材の利用促進に積極的に取り組んでいる。

さらに、材の安定供給に向け、施業の集約化を促すとともに、林内路網の整備や高性能林業機械の導入等への支援を行うなど、素材生産の効率化を図っている。

山梨県職員の退職手当に関する条例改正の件

山梨県警察関係手数料条例改正の件

山梨県税条例等改正の件

平成二十八年山梨県一般会計補正予算

平成二十八年山梨県集中管理特別会計補正予算

平成二十八年山梨県温泉事業会計補正予算

動産購入の件

指定管理者の指定の件

当せん金付証券発売の件

県道の路線の認定の件

地方財政の充実・強化を求める意見書

中部横断自動車道の早期整備を求める意見書

- 可決された議案
  - 平成二十八年山梨県一般会計補正予算
  - 平成二十八年山梨県恩賜県有財産特別会計補正予算
  - 平成二十八年山梨県流域下水道事業特別会計補正予算

- 可決された意見書
  - 山梨県職員の退職手当に関する条例改正の件
  - 山梨県警察関係手数料条例改正の件
  - 山梨県税条例等改正の件
  - 平成二十八年山梨県一般会計補正予算
  - 平成二十八年山梨県集中管理特別会計補正予算
  - 平成二十八年山梨県温泉事業会計補正予算
  - 動産購入の件
  - 指定管理者の指定の件
  - 当せん金付証券発売の件
  - 県道の路線の認定の件
  - 地方財政の充実・強化を求める意見書
  - 中部横断自動車道の早期整備を求める意見書
  - 地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

- 可決された議案
  - 山梨県知事、副知事、公営企業の管理者、教育長及び常勤監査委員の通勤手当及び期末手当支給条例改正の件
  - 山梨県議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例改正の件
  - 山梨県職員給与条例及び山梨県一般職の任期付職員給与と給与の特例に関する条例改正の件
  - 山梨県警察職員給与条例及び山梨県一般職の任期付職員給与と給与の特例に関する条例改正の件
  - 山梨県警察職員給与と給与の特例に関する条例改正の件
  - 山梨県警察職員給与と給与の特例に関する条例改正の件
  - 山梨県警察職員給与と給与の特例に関する条例改正の件
  - 山梨県警察職員給与と給与の特例に関する条例改正の件

- 採択された請願
  - 山梨県各機関における非行政書士行為排除の徹底を求めることについて
  - 中部横断自動車道の早期整備を求めることについて



# 代表質問



自民党誠心会  
中村 正則

- 地方創生の推進
- 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の事前合宿の誘致
- 山梨県ボランティア・NPOセンター
- リニア環境未来都市の整備
- 水素エネルギー社会の実現に向けた新たな取り組み
- 峡東ワインリゾート構想

- 本県農業の振興に向けた新たな取り組み
- 骨格道路の整備
- 地域と連携した学校の防災対策
- 冬季国体の開催に向けた取り組み



自民党誠心会  
白壁 賢一

- 新富士保全法制定への取り組み
- 恩賜林に対する基本的な考え方
- 食の安全・安心の推進
- 地震防災対策の充実強化
- 富士山火山防災対策
- 災害に強い県土づくり
- これからの観光振興の方向性
- 中小企業・小規模企業者の事業拡張に向けた支援

- 県産農産物等の海外販売・情報発信拠点の活用
- 馬術競技場を核とした地域の活性化
- 自殺対策推進計画
- 子どもへのケアに係る総合拠点の整備
- 山梨県地球温暖化対策実行計画の改定方針
- 教員の多忙化改善への取り組み



チームやまなし  
望月 利樹

- 若者層を対象とした転出対策
- 大規模災害時の避難者対策
- 子宮頸がん予防ワクチンの副反応への対策
- 保育人材の確保と保育の質の向上
- 動物殺処分ゼロに向けた取り組み
- 鳥獣被害対策
- 県有林の利活用
- 県内河川の水質向上と魅力を高める取り組み

- 買い物弱者対策
- 燃料電池関連産業への県内企業の参入促進
- 山岳観光の推進
- 緊急輸送道路における橋梁の整備
- 主要幹線道路
- 学校現場における業務改善の取り組み
- 総合球技場の整備



リベラルやまなし  
土橋 亨

- リニア中央新幹線の開業に向けた取り組み
- 新山梨環状道路の整備
- 自然景観を活用した周遊観光の促進
- 自然保育を活用した移住の促進
- JR中央線における早朝の快速列車の導入

- 果樹産地の生産基盤の整備
- 障害者施設の防犯対策
- 山梨県ボランティア・NPOセンター
- 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた取り組み

## 一般質問



自民党誠心会  
河西 敏郎

- リニア中央新幹線の進捗状況と住民の不安への対応
- リニア環境未来都市の整備
- リニア駅へのアクセス強化
- リニア開業に向けた都市計画道路
- 田富西通り線の整備
- 将来を担う小中学生を対象としたリニア見学センターの活用



自民党誠心会  
大柴 邦彦

- 企業の農業参入
- 地域連携による外国人観光客の誘客の促進
- 馬術競技場の整備
- 災害に備えた対応
- 学習指導要領の改訂への対応



チームやまなし  
佐藤 茂樹

- JR中央線の東京方面に向かう早朝、深夜の特急列車の新設
- 本県の企業立地環境のPR
- 本社機能の移転等
- 木材産業の振興
- 東アジアからの誘客
- いじめの早期解消に向けた取り組み



自民党誠心会  
遠藤 浩

- 健全な青少年の育成
- 基礎学力の確かな定着
- 峡南地域の施設高校の開校に向けた今後の取り組み
- ボランティア活動の推進
- 社会福祉法人制度改革への対応
- 国民健康保険
- 共生社会の実現に向けた取り組み
- 峡南医療センターへの支援
- 県産材の需要拡大に向けた取り組み
- MICE主催団体への受入情報発信の充実
- 峡南地域の公共事業の整備状況



自民党誠心会  
渡辺 淳也

- 障害者の就労促進
- 在宅医療提供体制の充実・強化
- 産前産後ケアセンター
- 織物業の振興
- 富士北麓地域における自転車周遊の環境整備
- 若彦トンネルのアクセス強化に向けた県道の整備
- 小水力発電の普及促進への取り組み
- 高等学校におけるアクティブ・ラーニング



### 総務委員会

委員長 永井 学

#### 山梨県警察関係手数料条例の改正

**問** 全国で、高齢運転者による死亡事故が相次いで発生しており、本年三月には、道路交通法が改正され施行となる。こうした中、手数料条例を改正するのは、どのような経緯によるのか。

**答** 交通死亡事故件数は減少傾向にあるが、高齢運転者による交通死亡事故件数の全体に占める割合は増加傾向にあることから、高齢運転者対策の推進等を図るため、道路交通法の一部改正となる。

この法改正では、高齢運転者の事故対策の推進として、臨時認知機能検査や臨時高齢者講習の新設等の規定が整備され、高齢者講習等に係る手数料標準額が改められたことから、この手数料標準額に基づき、手数料条例の改正を行うものである。

今後は、道路交通法の新たな制度の広報啓発活動を積極的に推進し、高齢運転者の交通事故防止に努めていく。

**【その他の主な質問事項】**

- 東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致推進事業費
- 消防防災ヘリコプターの購入

### 教育厚生委員会

委員長 遠藤 浩

#### 子どもの心のケアに係る総合拠点整備事業費

**問** こころの発達総合支援センター、中央児童相談所及び児童心理治療施設を一体的に整備することなどが、施設の規模はどの位を想定しているのか。また、新設する児童心理治療施設は、他県では民間への委託が多い中で県営とする理由は何か。

**答** こころの発達総合支援センター及び中央児童相談所は、利用者の増加や機能の高度化を考慮した部屋数や広さを確保するとともに、児童心理治療施設については、入所三十名、通所十五名、計四十五名の児童の定員数を踏まえ、心理治療、生活指導、学校教育が実施できる空間を確保する。

また、児童心理治療施設を県営とすることで、こころの発達総合支援センターの医師・スタッフが兼務するなど、緊密な人的・機能的連携による一人一人の子供のニーズに応じた入所前から入所後までの一貫した手厚い支援を行うことにより、全国に先んじた高度で先進的なケアが提供できる。

**【その他の主な質問事項】**

- 保育人材確保対策交付事業補助金
- 児童心理治療施設附属支援学校建設事業費

### 土木森林環境委員会

委員長 早川 浩

#### 県道の路線の認定

**問** 今回、路線認定を行う県道六郷インター線は、中部横断自動車道六郷インターチェンジの開通と合わせ、供用を開始することだが、供用後の渋滞について、どのように予測しているか。また、近隣には小中学校もあるが、児童生徒の通学時の安全は確保されているのか。

**答** 六郷インターチェンジに接続する県道市川三郷身延線の日当たり利用台数は、約四千七百台であり、六郷インター線の供用開始後、中部横断自動車道の現在の終着点となっている増穂インターチェンジの出口における一日当たりの利用台数である約千台を加えても五千七百台程度であることから、渋滞は発生しないものと考えている。

また、通学については、道路の片側に一・五メートルの歩道の設置により、安全が図られているが、供用についての周知を徹底し、万全を期していきたい。

**【その他の主な質問事項】**

- 道路修繕費
- 県単独街路整備費

### 農政産業観光委員会

委員長 大柴 邦彦

#### 富士工業技術センター研究開発支援棟整備事業費

**問** 富士工業技術センターは本県の重要な地場産業である繊維産業の支援拠点として長年存続しており、今後も産業界との協力体制のもと、積極的な取り組みを期待するが、今回の事業により、どのような効果が期待できるのか。

**答** 富士北麓地域は、古くから地場産業としてネクタイや服地などを生産しており、特に、織る前に糸を染める先染めや、高密度に織り上げるきめの細かい生地づくりを得意とする全国有数の織物業地であるが、近年では繊維製品の国際競争が激化し、国際的差別化のため、製品の品質や機能性の向上が急務となっている。

このため、研究開発支援棟を新たに整備し、あわせて事業者のネットワークづくりや、技術者育成のための研修会を行うなど、より付加価値の高い製品開発につなげたいと考えている。

**【その他の主な質問事項】**

- 果樹試験場施設等整備費
- 山梨県立中小企業人材開発センターの指定管理者の指定